

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨復興祈念シンポジウム（仮称） 開催業務委託評価基準

1 業務受託候補者決定方法

企画提案書の審査において、最も優れた提案を行った者（以下「最優秀提案者」という。）を業務受託候補者とする。

（１）企画提案書の採点

採点は、参加者から提出された企画提案書により、各審査員が評価項目ごとに定めた評価の視点に基づき、絶対評価で行う。

なお、採点については、次のとおり５段階評価とする。

5	優秀
4	良い
3	普通
2	やや劣る
1	劣る

（２）選定方法

ア （１）採点の結果に基づき、ボルダールールにより再評価し、評価が最も高い者を採用する。

イ 上記アの評点の最も高い者が複数であった場合は、（１）採点の合計が最も大きい事業者を採用する。

ウ 上記イの評点の最も高い者が複数であった場合は、審査委員の協議により決定する。

エ 提案者が１者の場合、提案者の合計点が満点（100点×評価する審査委員数）の６割に達したときは、最優秀提案者として採用する。

2 評価基準表

別紙のとおり

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨復興祈念シンポジウム(仮称)開催業務委託評価基準表

評価項目		内容	配点	評価				
				優秀	良い	普通	やや劣る	劣る
1	全般	・本業務を効果的・効率的に実施するための方法等が、明確かつ具体的に提案されているか。 ・能登の現状や復興に向けた取組に対する十分な理解の下での提案になっているか。	20	20	16	12	8	4
2	ステージイベント	・本シンポジウムの開催趣旨である「被災地の現状を発信する」、「被災地の復興の努力を称える」、「引き続きの復興支援を働きかける」に沿った提案になっているか。	30	30	24	18	12	6
3	パネル展示及び物品販売	・本シンポジウムの開催趣旨である「被災地の現状を発信する」、「被災地の復興の努力を称える」、「引き続きの復興支援を働きかける」に沿った提案になっているか。	20	20	16	12	8	4
4	広報・集客の工夫	・本シンポジウムがより多くの人に認知され、多様な客層の参加が見込まれるような広報手段等が明示されているか。 ・参加者の満足度や集中力を高め、途中退出を減らす工夫が凝らされているか。	15	15	12	9	6	3
5	実施体制等	・本業務を適正かつ確実に実施する体制を有するか。 ・スケジュールが適切に設定されているか。 ・本業務と類似した業務実績はあるか。また、過去の受託業務実績等に鑑み、提案された実施体制に説得力があるか。	10	10	8	6	4	2
6	見積書	・本業務の目的や趣旨、提案内容に即した適切な経費が計上されているか。 ・経費の内訳が明確であり、妥当な想定価格か。	5	5	4	3	2	1
			100	(得点)				